

令和6年度 園児事故報告について

園内でのケガ等（病院へかかる）の件数 計11件

●R4 年度から看護師を配置。怪我・体調不良時など対応している。

・ 右目の傷	
発生場所	保育室
事故の種類	擦り傷
対応・内容	保育者の手が目に当たってしまい目にキズが入ってしまう。保護者に連絡し病院を受診させていただく。点眼が処方され数日様子を見ていく。
今後の対応	保育者と園児の視点の違いを再度認識し、ふとした行動も園児に危険でないか職員全体で再認識し、十分に気をつけて保育に当たるように指導する。

・ 脱臼	
発生場所	保育室
事故の種類	右肘を脱臼する
対応・内容	肘を打ったか転倒したかで脱臼してしまう。看護師に固定し病院を受診する。
今後の対応	ふとした子どもの行動で起こりうる事を再認識し、子どもたちの行動に十分に注意していく。 ※同様なケースが4件。

・ 裂傷	
発生場所	遊具
事故の種類	あごを切る傷
対応・内容	玩具の階段を踏み外し、あごを切る。看護師が傷の確認と傷口を洗い止血する。 すぐに保護者に連絡し病院を受診する。処置・薬をもらい、消毒のため再診などして傷を保護して経過を見ていく。
今後の対応	遊びに入る前に、遊具の遊び方や危険がある事を子どもたちと再確認し意識付けが出来るようにしていく。また、子どもたちの行動に十分目配りし、危険がないように注意する。

・引っ掻きキズ	
発生場所	保育室
事故の種類	頬に引っかき傷
対応・内容	玩具の取り合いで友だちとトラブルになり頬を引っかかれてしまう。傷口をきれいに洗い看護師に診てもらう。傷が深かったので、病院を受診する。薬を処方してもらい、傷を保護して経過を見ていく。
今後の対応	トラブルの様子にすぐ対応が出来るように子ども達の様子に十分目配りしていく。 ※同様のケースが3件。

・打撲	
発生場所	保育室
事故の種類	足の指打撲
対応・内容	走っていて友だちの足につまずいて転んでしまい、足の親指付近を痛がり足をついて歩きたがらない。アイシングをして病院を受診する。
今後の対応	子どもの行動に十分目配りし、危険な行動をしっかり止められるように言葉かけなどに努める。

・裂傷	
発生場所	保育室
事故の種類	唇裂傷
対 応	着替えの際、滑って棚にぶつかり唇を切る。看護師が傷の確認と傷口を洗い止血する。保護者と連絡を取り、病院を受診する。処置・薬をもらい、再診して傷の経過を見ていく。
今後の対応	思わぬことでの転倒など、再度子どもの行動への目配りや言葉かけを心がけていく。